



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.97

平成 28 年 (2016 年) 4 月 4 日発行

### ■清明 4 月 4 日から 4 月 19 日までの節気

清明の節気です。清明とは清らかで明るく気持ちがよいという意味で草木がぐんぐん生長し、この時季はどうしてもサクラの話題が多いですが、さまざまな花がサクラに負けじと咲きほこり、晴々とした気持ちのよい季節です。

NPO PTPL の事務所周辺（日比谷公園、外務省など）でもサクラが満開であったり、まもなく満開を迎えようとしています。

この時季は、「入学式」「入社式」など新しい年度（※注）を迎え、気持ちも新たに次のステップへと進んでいきます。

新小学生は大きく見える真新しいランドセルを背負い胸を膨らませ、新社会人は不安と期待を持って社会に巣立っていきます。

日本の入学式といえば桜が定番です。（実際は東北地方や北海道ではもっと先ですが・・・）

現在はちがいますが、昔の合格通知は「サクラサク」という電報だったそうです。

本当にサクラは日本人の心の花だと思ってしまうところですよ。

「日本人の心の花、サクラ」に関しての話題をフェイスブック「ジャパネスク」「ともいきぐらし」に掲載していますので、是非、ご覧ください。

FB「ジャパネスク」：<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

FB「ともいきぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi/>

※注：年度について

官公庁や学校では 4 月 1 日から新しい年度が始まるといいます。

日本では国などの予算の執行期間は原則として一年単位で区切られた単年度制を導入していますが、この一年の区切りが暦の一年の区切りである大晦日と元日（12/31 と 1/1）とは 3 ヶ月ずれた 3/31 と 4/1 の間にあります。

国や地方自治体などの一年は暦の一年というより、この会計上の一年の方が

より重要な意味を持っており、暦の上での一年と区別するため「会計年度」、あるいは省略して「年度」などと言い表すようになっているそうです。

(日刊☆こよみのページ メールマガジンより：<http://koyomi8.com/>)

この時季の春に関する美しい日本語（季語）があります。いくつかご紹介します。

① 麗か（うららか）

ものみなすべて、春光を浴びて、明るく気持ちよく見える様子を言います。晴れやかな春の日だけではなく、美しい女性の容姿にも転用されています。

② 長閑（のどか）

春たけなわの時季の晴れた日ののんびりとおだやかな感じの言葉です。

③ 日永（ひなが）

冬至を過ぎて日がのびることを「日脚伸ぶ」と表現しますが、春をむかえ、いかにも日が長くなったと感じられる言葉です。

④ 花冷え

桜が咲くころは天候が定まらず、一時的に寒さが戻るがよくあり、殊に京都の花冷えは有名です。

(新日本大歳時記・講談社刊より)

春真っ盛りのこの時季、晴天の日には、春光を浴びながら、のんびりとサクラや春の草花を愛でる散策、いいですね。

ただ、夜桜を楽しみすぎて、風邪などひかぬようお気をつけ下さい。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

## ■ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼は

### サクラの国、日本。

サクラはバラ科のサクラ属の中の一群をいいます。日本のサクラには約10種(ヤマザクラ・オオヤマザクラ・カスミザクラ・マメザクラ・ミヤマザクラ・チョウジザクラ・カンヒザクラ・エドヒガン・オオシマザクラ)の野生種があり、自然的な交配や人為的な交配によりつくられた栽培品種が300種以上あるといわれています。

日本古来のサクラは地域で異なり、開花時期もバラバラでした。しかし、生育

が早く、同時期に一斉に花開き、一斉に花散るソメイヨシノは見る人に華やかな印象を与え、近代的な街並みを美しく彩るのに都合がよかったのでしょう。次々にソメイヨシノが植えられ続け、ヤマザクラやエドヒガンの名所だった上野や向島もソメイヨシノに入れ替わってしまいました。

現在、日本の桜の70%はソメイヨシノだろうといわれています。

さまざまな素晴らしい桜が日本にあることをもっともっと知ってほしいし、その地域の風土に合ったサクラを観賞し、大切に育てていこうではありませんか。日本はサクラの国、日本人の心の花はサクラなのですから。

●新宿御苑では約65種、1300本のサクラが植えられています。一週間ごとに盛りのサクラが変わり、表情が変わります。是非、体感してみてください。

### 蠢き。

天地自然、万物が蠢き、春ですよ~っと自然が教えてくれています。

さあ、待望の春です。生命（いのち）ざわめく春が巡って欲しいと寒さに耐えながら、じっと辛抱し、生活してきた日々。ようやくとです。

皆さんのお近くの自然をよく観賞、観察してみてください。小動物も動き始め、たくさんの植物の下萌、花芽、葉芽を思いっきり出そうとしている木々も多く見受けられます。

たとえ、小さな自然でも全てが蠢き始めました。自然の回帰循環する姿、感動です。（特に春のエネルギーは凄いもんですね。）

自然の蠢きに感応するわれわれは、やはり、自然の一部なのですね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●3月28日（月）、初めて皇居乾通り一般公開に行ってきました。

当日は花曇の天候の中、ソメイヨシノは1～2分咲きでしたが、エドヒガンとコヒガンザクラは見頃でした。

約750メートルの通りですが、随所に江戸の情緒が残り、楽しいひと時でした。

ついでに久しぶりに皇居東御苑にも足を運んだところ、いろいろな花が色鮮やかに咲き、見る者の目を楽しませてくれています。

一例をあげると

- ・赤色の「ボケ」、黄色の「シレンギョウ」、ピンクの「トウゴクミツバツツギ」、白色の「ユキヤナギ」など、サクラに負けじとさまざまな花が咲いています。

これらの色鮮やかな花々が、まわりの木々の緑と調和しています。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

●今回お届けする「ともいき便り No97 清明号」から5年目に入ります。

これからも、よろしくお願ひします。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp